

我が国におけるディープテック・スタートアップエコシステム構築に向けたオープンイノベーションの推進に係る検討事業

説明会資料

2026/1/13

※ご参加の際は、表示名の指定等はありませんが、必ず、カメラ、マイクをオフにした上で、ご参加ください（事務局で制御させていただく場合がございますが、ご了承ください）。

※質疑応答は、チャット欄に記入していただいたものに回答するスタイルの予定です。説明中にご記入いただいて構いません。必要に応じて、ご発言いただく場合がございます。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

スタートアップ支援部 人材支援・オープンイノベーション促進チーム 担当

open_innovation@nedo.go.jp

公募要領に沿って、下記の順番でご説明いたします。

事業概要
事業期間・予算
応募対象者
対象費用
提出期限
提出方法
提出書類
審査基準
実施項目
報告書
スケジュール
問い合わせ

※ご参加の際は、表示名の指定等はございませんが、必ず、カメラ、マイクをオフにした上で、ご参加ください（事務局で制御させていただく場合がございますが、ご了承ください）。

※質疑応答は、チャット欄に記入していただいたものに回答するスタイルの予定です。説明中にご記入いただいても構いません。必要に応じて、ご発言いただく場合がございます。

公募要領 P3

- NEDOは、「スタートアップ育成5カ年計画」に記載の大きな目標の実現に向けて、「**ディープテック・スタートアップ支援基金／ディープテック・スタートアップ支援事業**」（以下、「**DTSU事業**」という）を2023年3月末から開始し支援を実施。
- NEDOが行っているディープテック・スタートアップ支援施策の現状を踏まえた上で、**実施すべき伴走支援の取り組みを拡充**していく必要がある。
 - 具体的には、起業前の段階から、ミドル期（エクспанション期）、更にはレイター期まで事業を拡大させていく成長プロセスを見据えて、適切なタイミングでの資金支援を行い、それによる実態を伴った企業価値の増大並びにユニコーン企業の創出を大きく促進する。
 - ディープテック・スタートアップが有する革新的な技術の確立・事業化・社会実装を実現し、事業成長及びそれらに伴う新たな付加価値の創出をグローバル市場も視野に入れて加速させる。

公募要領 P3, 4

★DTSU事業と同時並行に実施する伴走支援

→ディープテック・スタートアップによる技術シーズからエグジットまでの**事業成長**及びそれらが有する革新的な**技術の確立**、**資金調達**や**外部連携等の取組**、**事業化・社会実装**を加速するための**事業会社とのオープンイノベーションの促進に向けた、我が国におけるディープテック・スタートアップエコシステムの構築を促進することを目的**

→具体的には、JOICが果たしてきた機能・役割等を発展的に維持することに加えて、グローバル展開を見据えたディープテック・スタートアップを起点とした革新的な技術の社会実装や既存の事業会社を巻き込んだオープンイノベーションをより一層推進するための環境づくりの契機となることを意図するもの

JOICホームページ等参照

■ 設立：2017年3月1日（2機関の合併・改組にて現行体制）

- ◆ ベンチャー創造協議会（2014年9月 経済産業省設立）
- ◆ オープンイノベーション協議会（2015年2月 NEDO設立）
- ◆ サイエンス&イノベーション・インテグレーション協議会（2019年8月 内閣府設立）

■ 目的：イノベーションの創出及び競争力の強化

- ◆ 民間事業者の「オープンイノベーション」の取り組み推進
- ◆ ベンチャー有識者会議にて提言された「ベンチャー宣言」の実現

ベンチャー有識者会議は、以下を宣言し、自ら行動するとともに、賛同、協働する企業、個人、団体を募るベンチャーとは、起業にとどまらず、既存大企業の改革をも含めた企業としての新しい取組みへの挑戦である次世代を担う企業群を形成し、「新しい力」で経済を再生するために、ベンチャー創造の好循環を実現する

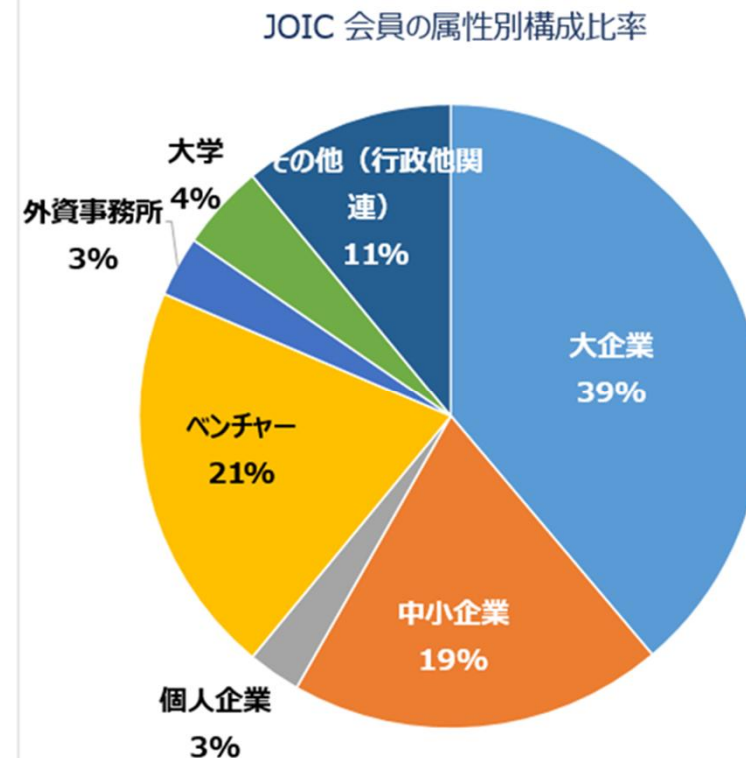
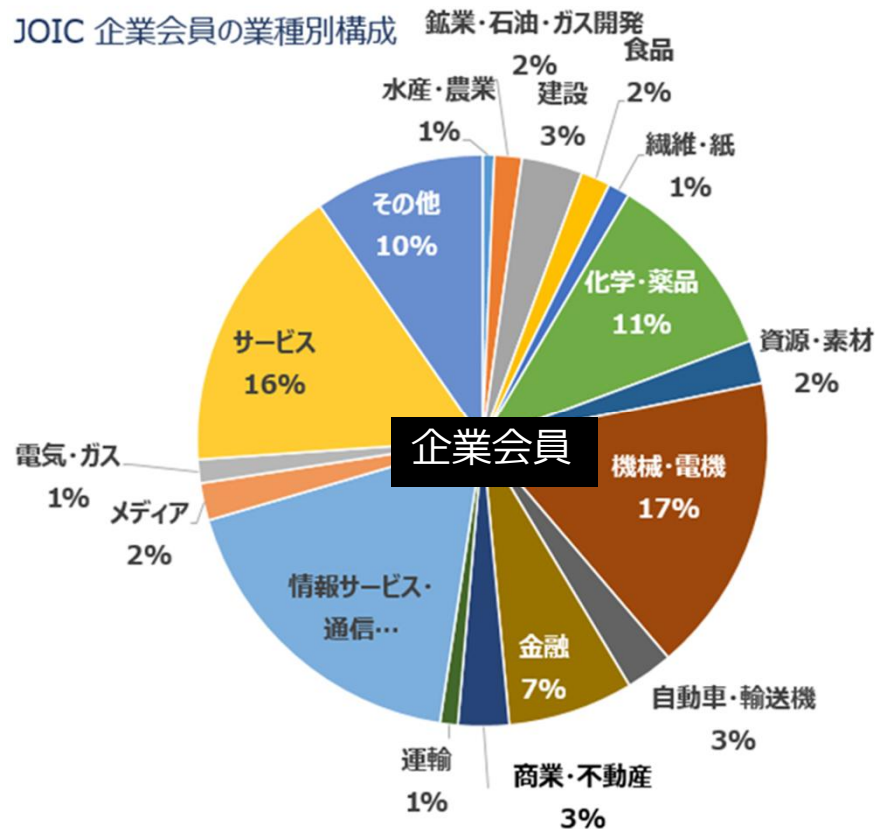
■ 運営事務局：NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）

- ◆ 事務局長：NEDO副理事長
- ◆ 担当部署：スタートアップ支援部 人材支援・オープンイノベーション促進チーム
- ◆ 運営支援：委託先を公募
- ◆ ホームページ：<https://www.joic.jp/>

- JOIC会員：1,675人 (企業会員：1,059、賛助会員：616)
 - ◆ 大企業が多くを占めつつ、中小・ベンチャー企業も存在
 - ◆ 賛助会員は大学、公的機関、個人から構成
- オープンイノベーションに参画するプレイヤーの多様化を図る

JOIC会員の構成

会員数 1,675



(参考) 2025年度JOIC実施のイベント



■ NEDOピッチ：テーマ領域毎でのオープンイノベーションによるビジネス案件を創出

- ◆ 2025/4/16 第56回 NEDOピッチ 次世代ロボティクス特集
- ◆ 2025/5/21 第57回 NEDOピッチ 宇宙特集
- ◆ 2025/6/25 第58回 NEDOピッチ デジタルヘルス特集
- ◆ 2025/7/29 第59回 NEDOピッチ AI x ものづくり特集
- ◆ 2025/10/28 第60回 NEDOピッチ アグリテック特集
- ◆ 2025/11/14 第61回 NEDOピッチ 女性起業家特集
- ◆ 2025/12/17 第62回 NEDOピッチ マテリアル特集
- ◆ 2026/2/6 第63回 NEDOピッチ GX特集（予定）

■ ワークショップ：双方向な学びの場を提供

- ◆ OIに対する理解や気運の醸成を目的として実施。SUとの付き合い方、PoCの進め方といった初歩な課題から、知財権利などの高度なレベルまで幅広く対象
- ◆ 少人数の参加者による積極的な議論の場を提供
- ◆ 2025/6/6 第1回 ワークショップ（オープンイノベーション経験企業×SUによるパネルディスカッション）
- ◆ 2025/6/17 第2回 ワークショップ（市場・技術の動向調査、自社リソースの棚卸し、事業案の発想）
- ◆ 2025/7/29 第3回 ワークショップ（事業案の発信、リバースピッチ）

(参考) 2025年度JOIC実施のイベント



■ NEDOドリームピッチ：地域特化したSUやSU支援機関・事業者等との連携

- ◆ 2025/6/24 J-Startup WEST 設立2周年記念イベント連携 トークセッション
- ◆ 2025/7/4 NEDOドリームピッチ@IVS KYOTO 2025 (DTVS Morning Pitch連携)
- ◆ 2025/9/11 MEET UP CHUBU vol.69
「ディープテックスタートアップ × ものづくりのこれから with NEDOドリームピッチ
- ◆ 2025/9/17 NEDOドリームピッチ in Tech Osaka Summit 今こそ新しい事業会社へ！
- ◆ 2025/9/18 NEDOドリームピッチ in Osaka
ディープテック・スタートアップに求められる人材になるには！

■ 展示会出展

- ◆ 10/23 ~ 10/24 オープンイノベーション EXPO2025 @パシフィコ横浜
 - ・JOICブース展示
 - ・セミナー：「オープンイノベーション関連政策とNEDOのスタートアップ支援」
(10/24 11:30-12:30)

- **オープンイノベーション（OI）白書Ⅲ版（2020年6月）**
 - ◆ イノベーションの定義、意義・目的や手段、歴史的な経緯を踏まえた全体像や実情を紹介
- **スタートアップ向け経営人材支援事業の取り組み状況に関する調査事業（2021年3月）**
 - ◆ スタートアップへ転職したことがある人材に対して調査を実施
 - ◆ 求人企業側との人材のミスマッチを減らすことを目的
- **オープンイノベーション支援事業者に関する調査事業（2021年5月）**
 - ◆ OI支援事業者と大企業の適切な連携促進の検討のため、意見交換会を実施
- **オープンイノベーションを活用した事業創出に関する調査事業（2023年2月）**
 - ◆ 外部の技術・人材等を活用した事業創出に関する先行事例、実態・課題等を調査
- **事業会社とディープテック・スタートアップ（DTSU）との連携に関する現状調査（2024年3月）**
 - ◆ DTSUの有する技術確立・事業化・社会実装の加速に貢献しうる事業会社を把握

■ 入会条件

- ◆ オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会の活動の趣旨にご賛同頂けること。
- ◆ 企業名、団体名は非公表でも入会可能
- ◆ 会費無料

■ 入会手続き

- ◆ JOICホームページから 
- ◆ ホームページ : <https://www.joic.jp/>

■ 特典

- ◆ 会員向け各種イベント（NEDOピッチ、ワークショップ、セミナー等）の優先的なご案内
- ◆ オープンイノベーション関連の情報を掲載したメールマガジンの配信（原則、毎週月曜日）

公募要領 P4

NEDOが指定する日から**2028年2月28日**（月）

2億円（消費税込）以内
（1事業者程度採択予定）

公募要領 P4

本件の応募が可能な実施者は、次のaからcまでの全ての要件を満たすことができる企業等が対象。

- a. 当該業務又は関連業務についての**実績**を有し、かつ目的・目標の達成及び業務の遂行に**必要となる組織、人員等を有していること。**
- b. 当該業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について**十分な管理能力**を有し、かつ**情報管理体制等**を有していること。
- c. NEDOが業務を推進する上で必要とする措置を、**適切かつ迅速に遂行できる体制**を有していること。

公募要領 P4

本業務を進めるために必要な**労務費、その他経費、間接経費、再委託費**です。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_jimushori_2025.html>

参考資料4 特別約款 P7

外注費、再委託及び共同実施の額は、原則として委託先との契約金額の **50%未満**とすること。

公募要領 P5

公募期間：2025年12月26日（金）～2026年**2月4日（水）正午**

提出期限：2026年2月4日（水）12時（正午）アップロード完了

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトでお知らせいたします。

なお、NEDO公式Xをフォローいただくと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせをTwitterで確認できます。是非、フォローいただき、ご活用ください。

(<https://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>)

公募要領 P5

記入方法・記入欄をよくご確認ください！

提出先 jGrants 公募ページ申請 URL

<https://mng.jgrants-portal.go.jp/request-form/preview/a0RJ200000DQzhDMAT>

提出方法

電子申請システム「jGrants」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロードした上で申請してください。提出にあたっては、**提出が必要な書類を一つの zip ファイルにまとめて（100MB 以内）提出してください。**

jGrants の使用にあたっては、事前に G ビズ ID の「G ビズ ID プライムアカウント」または「G ビズ ID メンバーアカウント」が必要です。G ビズ ID の取得は 2 週間以上かかる場合もあるため、G ビズ ID を未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。

その他 G ビズ ID の取得や jGrants 利用・申請にあたっては、以下のウェブサイトをご確認ください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html

！要確認！

- ①様式 1． 提案書
- ②添付資料 1． 利害関係の確認について
- ③添付資料 2． 再委託理由及びその業務内容 ※該当の場合のみ
- ④添付資料 3． ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況について
- ⑤添付資料 4． NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票
- ⑥提案者に関する情報（再委託先を含めて提案をする場合はすべての企業分）
 - ・会社経歴書（NEDOと過去 1 年以内に契約がある場合を除く）（会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書）
 - ・直近の事業報告書及び直近 3 年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）※なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出を求める場合があります。
 - ・NEDOが提示した契約書（案）（本公募用に特別に掲載しない場合は、標準契約書を指します）に合意することが提案の要件となりますが、契約書（案）について疑義がある場合は、その内容を示す文書を添付してください。

調査委託契約標準契約書

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2024_3yakkan_chousa.html

・**提案書類は、日本語で作成**していただきますが、提案者が外国企業等であって提案書類を日本語以外の言語で作成し、日本語に翻訳したものである場合は、参考としてその原文の写しを添付してください。

※「参考資料 4．ディープテック・スタートアップ支援調査事業（基金設置法人が実施する業務関連）に関する特別約款」も適用されますので、よくご確認ください。

様式1. 提案書

記載例に従って記載してください（項目を網羅してください）
A4サイズで印刷可能なサイズとしてください。
青字の補足説明に従って、記載してください。
※青字は削除し、「黒字」で記入してください。

パワーポイント形式で構いませんが、必ず
項目番号を統一し、特に実施項目は番号で
呼応するようにしてください！

採択決定後は、採択者に対して、実施計画書の提出を依頼します。採択通知日から1か月程度での提出をご依頼します。

そのため、「実施計画書」を見越して、当該情報を記入する表等を作成していただくと効率的です。

実施内容や積算等の詳細情報を記載していただきますので、事務処理マニュアルをよくご確認の上、十分な作業時間を確保してください。

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_jimushori_2025.html

なお、NEDOでは、契約管理において、PMSシステムを導入しており、実施計画書送付状の送付等から省略しています。

まずは、PMS登録をお願いいたします。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/nedopms.html>

なお、提出していただきたい「実施計画書ひな型」は、下記URLにございますので、事前に記載内容等をご準備いただくことも可能です。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

様式1. 提案書

1. 調査テーマ

「我が国におけるディープテック・スタートアップエコシステム構築に向けたオープンイノベーションの推進に係る検討事業」

2. 調査の概要

当該調査を実施するに当たり、調査の目的・目標・内容等の概要について説明してください。

3. 調査の目標

当該調査を実施するに当たり、各調査項目についてどの程度の量の情報を集め、どのように整理を行うことを目標としているか、具体的に説明してください。

4. 提案する方式・方法の内容

当該調査を実施するに当たり、貴社が提案する手法や手段、7. で記入した調査項目及び調査報告書のイメージについて、具体的かつ詳細に説明してください。

5. 調査における課題

当該調査を実施するに当たり、現在想定している具体的課題について説明してください。

6. 調査実績

当該調査分野における貴社の実績を説明してください。

実施項目番号（小見出）で整理し、
年度別に記載してください！

7. 調査計画

当該調査を進めるためには、仕様書における調査項目をどのように細分し、どのような手順で行うのか、また、どの程度の経費が必要となるかを一覧表にまとめてください。

様式1. 提案書

8. 調査体制

当該調査を受託したときの実施体制図及び研究員の調査に関する実績について示してください。共同提案の場合や再委託を行う場合は、まとめて示してください。

9. **2026年度、2027年度**の必要概算経費

上記の調査に必要な経費の概算額を調査委託費積算基準
<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
に定める経費項目に従って、記載してください。

外注、再委託先の必要概算
経費についても、年度別に
記載してください！

10. 契約書に関する合意

「〇〇株式会社〇〇 〇〇（代表者氏名：会社、法人としての代表者の氏名）」は本調査の契約に際して、NEDOから提示された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で提案書を提出します。

11. その他

調査を受託するに当たっての要望事項があれば記入してください。

公募要領 P6

- a. 目的・実施内容が仕様書の内容と合致しているか
- b. 提案する方式・方法に工夫があり優れているか
- c. 業務実施における課題とその解決に向けた取り組みの内容が明確かつ実現の可能性があるか
- d. 業務を遂行するための高い能力を有するか（関連する実績等）
- e. 提案する実施計画（実施体制、人員等を含む）が適切かつ実行可能性が高いものか
- f. **ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等を受けているか**

ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第24条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては加点評価されることとなります。）

仕様書 P2

KPI

項目番号	KPI項目	対象	KPI値
3. 1. 1	NEDOピッチ	ディープテック・スタートアップと事業会社とが面談等により接点をもった件数	各ピッチ平均 3 件以上
3. 1. 2	NEDOドリームピッチ	合計参加人数	60名以上（各回平均20名以上）
3. 1. 3	NEDOプライベートピッチ	ディープテック・スタートアップと事業会社とが接点をもった件数	各回平均 2 件以上
3. 1. 4	セミナー・ワークショップ等	合計参加人数	100名以上（各回平均20名以上）
3. 2. 1	事業会社のロングリストの作成	事業会社数	100社以上
3. 2. 2	NEDO事業者の整理・分析	関係構築、連携に向けてモニタリング（実証）	4社（うち2社は本事業期間中）
3. 3. 2	新規会員の獲得	合計人数	100人以上
3. 3. 4	情報発信・広報の実施	情報発信・広報の掲載数	30本以上
3. 3. 6	JOICのホームページへの掲載コンテンツの修正・作成及び更新	JOICのホームページへの記事掲載またはプレスリリース等の掲載数	30本以上

※事業会社との連携実績に係るKPI値については、達成が望まれる目標ではあるが、伴走支援先のディープテック・スタートアップの事業の進捗状況等を踏まえた支援を実施することが大前提となる。

仕様書 P3

1. 各種イベント等の実施

開催方法は、**現地開催、ハイブリッド開催を効果的に組み合わせ**て提案してください。その際、Webページや電子媒体、情報発信媒体等を活用しディープテック・スタートアップ各社のビジネス創出につながる参加者の発掘に注力し、**NEDOが持つネットワークやJOIC会員に限定せず、より広範で積極的な広報手段を提案**するとともに、**検討・試行**してください。

また、イベント等の実施のみを目的とすることなく、イベント実施前後におけるフォローアップと、特にイベント実施後の行動のトレースに注力し、上記のKPI達成に資する取り組みをご提案ください。

なお、**実施回数・規模については、対効果を鑑みた理屈が立つ場合は、数値を追うものではなく代替企画等を提案**できることとしますが、**実施にあたってはNEDOと協議の上変更**できることとします。

応募にあたっては、ディープテック・スタートアップエコシステムの構築に重要な要素を整理した上で、その効果を最大限発揮できるような実施方法、広報手段（Webページや電子媒体、情報発信媒体等の活用）や工夫等を明記すると共に、各イベント内容（地域、連携先等も含む）についても具体的に提案してください。

- (1) NEDOピッチ（10回以上）
- (2) NEDOドリームピッチ（6回以上）
- (3) NEDOプライベートピッチ（事業会社15社以上）
- (4) セミナー・ワークショップ等（10回以上）

仕様書 P3

(1) NEDOピッチ（10回以上）

DTSU事業の採択事業者を中心とするディープテック・スタートアップが、事業会社との事業連携、調達・購買に向けたマッチングを促進することを目的としたピッチを、「NEDOピッチ」として実施してください。

具体的には、登壇するディープテック・スタートアップのポジションを含めた業界マッピングや、ディープテック・スタートアップと事業会社の連携等の好事例などを提示し、特に各種イベントへの参加者の多くを占める事業会社をターゲットとして、ディープテック・スタートアップとの能動的な連携・接続に繋がるよう工夫してください。その際、必要に応じて開催時間、会場等も自由に提案することができます。

なお、NEDOピッチの実施テーマ・コンセプトについては、現状のディープテック・スタートアップのエコシステムにおいて特に取組が求められる領域（起業家やVC等の支援者の性別の偏りに起因する課題等への対応、ディープテック・スタートアップの製品・サービスの事業会社による継続的な調達・購買の実現等）を踏まえた上で、NEDO等と協議して決定することとします。

仕様書 P3-4

(2) NEDOドリームピッチ（6回以上）

JOICの各施策・調査内容の成果発表の場としての大型のイベントを「NEDOドリームピッチ」として企画・開催してください。

その際、JOICの単独開催だけではなく、全国各地でディープテック・スタートアップに照準を合わせた各種イベントが多数開催されている状況を踏まえて、**外部の公共機関または民間事業者や関東圏以外を含めた地域との連携イベント等**も含めてください。実施にあたっては、**既存の取組とのコラボレーションやネットワーク形成や関係構築**を図り、情報発信や関連施設等との連携してください。

なお、関東圏以外を含めた地域で実施する、他の支援機関や経済産業省との連携を前提としたイベント等への対応についても、NEDOが決めた役割分担の範囲で、支援を行っていただく場合があります。

(3) NEDOプライベートピッチ（事業会社15社以上）

NEDOでは、従来のオープン形式のピッチイベントでは、個別具体的な質疑応答やニーズの提示が難しい課題・背景を踏まえて、2017年度より**JOIC会員のうちニーズ提示ができる事業会社**に限定し、NEDOが支援するディープテック・スタートアップとのクローズド形式の個社向けピッチイベントを「NEDOプライベートピッチ」（以下、「NPP」とする）として実施しています。

本事業で実施する**各種イベント等とのバランス**をとり、**ディープテック・スタートアップの負担等も鑑みた上**で、より効果的な実施形態を提案した上で、その手法を取り入れて企画・日程調整等の事務局業務を実施してください。

なお、NPP開催を希望する事業会社のリスト等は、NEDOと協議の上で適宜共有等します。

仕様書 P4

(4)セミナー・ワークショップ等（10回以上）

ディープテック・スタートアップと事業会社とのオープンイノベーション推進に向けた関係構築、連携に対する理解・気運の長期的な目線での醸成を目的として、実務を担当する社員だけでなく、事業会社の現役の経営層や次期経営層等をターゲットとした、**実際に行動変容を促すためのセミナー・ワークショップ等を企画し、実施**してください。

具体的には、事業会社とディープテック・スタートアップとの相違点として挙げられるコミュニケーションの仕方などから、共同研究、調達・購買、更にはM&A等を視野に入れた関係構築の仕方などを対象テーマとして想定し、効果的な実施形態・手法を設計した上で、実施してください。

特に、2025年度に実施した「大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業」【1】調査事業において実施したセミナー等の趣旨を勘案するとともに、経済産業省が公開した「大企業等によるスタートアップ調達・購買ガイドライン」の広報・連携を十分に考慮した内容とするようにご提案ください。

また、**事業会社の行動変容を促す関連事業等も積極的に連携**してください。

仕様書 P4

2. オープンイノベーション推進に向けた情報収集と実証

ディープテック・スタートアップと事業会社等との事業化・社会実装を加速させるとともに、事業会社の行動変容を実証するために、下記の支援を実施してください。

応募にあたっては、具体的な手法、実施方法等を記載すると共に、**短期的（事業期間中）・長期的に得られる効果と合わせて提案**してください。特に、3. 3. 3. においては、「ディープテック・スタートアップエコシステム」の定義や調査対象となる国・都市・地域等の選定方針等も含めて、その調査想定及び手法を記載してください。

- (1) 事業会社のロングリストの作成
- (2) NEDO事業者の整理・分析
- (3) 事業会社のオープンイノベーション推進に向けた実証
- (4) 調査事業の実施と実証

仕様書 P4-5

(1) 事業会社のロングリストの作成

1. で実施するイベント等の実施に向けて、もしくはイベント実施後のフォローアップ等を経て、**ディープテック・スタートアップとのオープンイノベーションに積極的な事業会社のロングリスト（社名のみならず、部門・部署レベルのキーパーソンまで把握することが期待される）**や**取組情報等を整理**してください。
ロングリストは、DTSU事業の採択事業者を中心とするディープテック・スタートアップが活用することを想定して作成してください。

(2) NEDO事業者の整理・分析

別途実施する「ディープテック・スタートアップ支援基金／大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／共創テーマにおけるスタートアップの製品検証フェーズ（PoPフェーズ）」及び「GX分野の大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／共創テーマにおけるスタートアップの製品検証フェーズ（GX_PoPフェーズ）」において支援する事業者の取り組みについて、**報告書等から読み取れる調達・購買に向けたプロセスの進捗状況を横断的に整理・分析**してください。また、NEDOが指示する場合において、事業範囲内で**連携・調達を担う大企業等に対する伴走支援等**を含める場合があります。

なお、事業者の報告書等はNEDOが仲介し提供する想定です。

仕様書 P5

(3) 事業会社のオープンイノベーション推進に向けた実証

1. のイベント実施後のフォローアップ等を通して、ディープテック・スタートアップとのオープンイノベーションに着手する強い意志を確認できた未経験の事業会社4社程度を主なターゲットとして、関係構築、連携に向けて支援してください。

うち2社程度に対しては、本事業期間中に、具体的な連携に至るように実施してください。その伴走支援においては、途中経過も十分に記録し、要因分析等を実施してください。

(4) 調査事業の実施と実証

我が国が世界に伍するスタートアップ・エコシステムを形成する為には、再現性を高くディープテック・スタートアップを創出・成長に寄与する環境やその基盤構築が重要です。

そのため、海外のディープテック・スタートアップエコシステムが形成された背景や成功要因等を調査・抽出・分析し、重要な論点から導き出される具体策を、我が国の実態に即した形態に落とし込み、本事業期間中に、3. 1、3. 2等に試行的に取り入れて実証してください。その実証においては、途中経過も十分に記録し、要因分析等を実施してください。

なお、調査の実施にあたっては、NEDO等と協議して推進することとします。

仕様書 P5-6

3. JOIC事務局業務の実施

過去のJOICの在り方に対する調査事業における検討結果を踏まえて、JOIC事務局として、以下の業務を実施してください。
応募にあたっては、具体的な内容（必要に応じてデザイン等も含めてください）、手法、実施方法等を提案してください。

(1) 会員向けメニューの整理

既JOIC会員だけでなく、ディープテック・スタートアップとのオープンイノベーションに積極的な事業会社にとって、**JOICに参加する意義・メリット等のインセンティブを考慮した会員向けの活動を整理して、具体的なメニューとして整理**してください。

その際、オープンイノベーションの支援や促進を標ぼうする民間事業者が数多く存在する中での連携や立ち位置の整理等を踏まえてください。

(2) 新規会員の獲得

3. (1)を踏まえて、1. で実施するイベント等と効果的に連動し、JOIC会員の**新規獲得に向けた方策を提案し、本調査において試行**してください。その際、JOIC会員数を単純増加させることのみを目的とはせず、**会員企業が属する業界の幅を広げる等、本調査の目的に資するような工夫を提案**に盛り込んでください。

仕様書 P5-6

(3) 「JOIC在り方検討会（仮）」の企画運営（年1回程度）

ディープテック・スタートアップ支援やオープンイノベーションに係る実務家・学識経験者や、スタートアップを始めとする産業エコシステム、ビジネス・エコシステム等のエコシステム論を専門とする有識者等を含めた専門ワーキング等によりJOICの在り方を客観的かつ多面的に議論し、NEDOのディープテック・スタートアップ支援が、研究開発から事業開発までその幅を広げることが見込まれる中で、支援主体となるNEDOが果たすべき役割とそのロードマップと対比する形で、JOICの位置付けや目標に対する進捗等を整理してください。

その際、我が国におけるディープテック・スタートアップエコシステムの構築に重要である論点別に小ワーキンググループを設定するなど必要に応じて柔軟に運営してください。

仕様書 P6-7

(4) 情報発信・広報の実施

現状のJOICの情報発信・広報手段である、毎週1回程度の会員向けメールマガジンやNEDOスタートアップ支援部Facebookアカウント、NEDO公式Youtubeチャンネルに加え、1. 記載のイベント等の広報手段と併せて効果的な広報手段の改善を提案し、NEDOのネットワークやJOIC会員に限定せず、より広範で積極的な広報を検討・試行してください。

(5) JOICのホームページ掲載情報の管理、掲載業務の運用、ホームページ改修およびJOIC会員管理の推進

JOICホームページは、JOICにおける主な情報発信ツールとなっていることから、本ホームページに掲載する情報について管理するとともに、当該情報の掲載業務の運用を行ってください。また、JOIC会員情報の管理については、企業名（社名が変わった企業等）、業種、企業規模分類、有効な連絡先等や、反社会的勢力の有無の確認を行うとともに、最新のJOIC会員数や構成を把握し、情報更新・整理機能の改修作業も含めてください。これら掲載情報の管理、掲載業務の運用においては、NEDOが指定するコンテンツ管理システム及び会員管理システムを用いて行ってください。

なお、ホームページおよびJOIC会員管理を運用するためのサーバーの管理・運用については、NEDOが別途請負契約にて、サーバー管理・運用事業者と契約を行い、本実施者に対して、コンテンツ管理システム及び会員管理システムへのアクセス権を貸与します。

(6) JOICのホームページへの掲載コンテンツの修正・作成及び更新

JOICホームページへの掲載情報については、ホームページ閲覧者にわかり易く、かつ効果的に情報発信を行えるように、必要に応じて情報の峻別や、追加、修正等を行ってください。また、本ホームページの検索回数の向上を図るための改修を適宜行ってください。外部の情報発信媒体等の活用を検討する場合は、アカウントの運用や管理の手法について、委託後にNEDO担当者らと連携を取りながら実施を行ってください。

- ・掲載済み情報並びに本委託で実施されるイベント等の成果物
(2025年度までの実施分は、必要に応じて再加工等の作業が生じる場合も含む)
- ・DTSU事業の採択事業者の情報（各事業者との連絡・調整も含む）
- ・本事業とは別に実施される調査事業等における公開情報等

仕様書 P7

- ・本事業で実施した内容を報告書（和文）の形に取りまとめていただくと共に、概要（主な取組等）についてはパワーポイント形式で別途取りまとめ、データ等については NEDO が別途指定するフォーマット等で整理。

- ・調査結果のエビデンスを示す参考資料も別途提出。

※本業務において収集した各種情報・データ等は全て NEDO に帰属（本業務の終了以降も活用予定）

（１）中間報告書

提出期限： **2027年2月26日（金）**

提出方法： 提出時点における本業務の中途結果を、**最終報告書の内容を見据えた形式**で取りまとめ、中間報告書（ワード形式およびパワーポイント形式）として、電子メールにより、当機構担当者まで提出。

（2027年3月31日（水）までに別途、中間調査報告書（中間年報）を NEDO PMS により提出。

（２）最終報告書

本業務の結果を最終報告書として取りまとめ。概要（主な取組等）についてはパワーポイント形式で別途取りまとめ、その他資料等も併せて提出。

提出期限： **2028年2月28日（月）**

（契約期間を延長した場合は NEDO の指示に従うこと）

提出部数： 1部

提出方法： 電子メールにより、当機構担当者まで提出してください。

「生成AI」を始めとする先進的なAI技術は、常識の範囲での活用とし、活用する場合はNEDOと協議すること。

なお、NEDO ホームページ上で公開するため、指定のフォーマットに従い別途、調査報告書（成果報告書）も作成し、NEDO PMS により提出してください。

★（参考）「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

公募要領 P6

2025年12月26日	: 公募開始
2026年 1月 9日	: 公募説明会申込締切
1月13日	: 公募説明会
2月 4日	: 公募締切（12時アップロード完了）
2月中旬（予定）	: 採択審査委員会 ヒアリング審査を実施する予定です。
2月下旬（予定）	: 委託先決定、公表
3月上旬（予定）	: 契約、業務開始

公募要領 P11

本公募に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先まで**E-mail**でお願いします。
また、本公募の問い合わせ**メールの件名の頭に【DTSU_JOIC公募】**を記入願います。
但し、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部 JOIC事務局
E-mail : open_innovation@nedo.go.jp